

James Earls, Thomas Myers
赤坂清和(監訳)

ファッショナル・リリース・テクニック 身体構造のバランスを整える 筋膜リリース技術

黒澤和生
(国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部)

筋筋膜に対する徒手的治疗手技は、マッサージ師、理学療法士、整骨師、スポーツトレーナー等の間に広く普及しているが、John F Barnes らにより体系づけられた筋膜リリースは比較的最近になり徒手療法に加わった手技である。

2012 年 6 月、『ファッショナル・リリース・テクニック身体構造のバランスを整える筋膜リリース技術』が医道の日本社から出版された。James Earls と『アナトミー・トレインー徒手運動療法のための筋筋膜経線』(医学書院)の著者で有名な Thomas Myers の 2 人の共著である。監訳は、徒手療法に精通されている埼玉医科大学大学院の赤坂清和先生が担当されている。

『アナトミー・トレイン』は、人体を走る筋筋膜のつながり(筋筋膜経線)をトレイン(列車)に例えて、ヒ

トの姿勢の補正と動作の安定性を考えるときに、連続した筋膜の構造バランスから考えるべきであると提唱した画期的な書であり、理学療法士、作業療法士、スポーツトレーナー、柔道整復師、ボディワーカーなど、身体機能の調整にかかわる職種に応用されている。本書は、これらの概念を基本とした上で全身の部位に対する筋膜リリーステクニックについて言及した内容となっている。巻末の付録 1 にはアナトミー・トレインラインの概要が、付録 2 には禁忌事項が記載されている。

姿勢に対する評価と治療に応用する 1 つの手段として、身体構造のバランスを調整する上で、徒手療法の新たな戦略となる筋骨格パターンの全体的な見方を示唆する。治療の概念としては、生体力学的効果および神経生理学的効果をめざしている。

医師の指示の下で行う理学療法においては、体性機能異常の改善や皮膚の過敏により関節に対するアプローチを躊躇する場合や筋筋膜による構造異常が明らかな原因である場合などに筋膜リリースを用いることが臨床活用に有用であるとともに、治療の広がりを予感させる 1 冊である。

●B5 判・279 頁・四色刷り
定価 4,725 円(4,500 円+税)
2012 年 医道の日本社・刊